

2011年度

科目名	ゼミナールⅡ				
担当教員	阪口 むつみ				
配当	教福4		コード	80218	
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	コンピュータを活用した視聴覚作品の制作研究				
目的と概要	「ゼミナールⅠ」を踏まえた実践が中心の授業であり、コンピュータ(DTMシステム)を活用してオリジナル作品の制作をするのが目的である。前半は卒業研究作品のためのトレーニングとして物語・画像・音楽をデジタル化・編集し、最終的に全データをシンクロナイズさせて一つの作品に仕上げる。後半は、物語、画像、音楽、声(語り)の全てを創作したオリジナル作品として完成させ、卒業研究作品とする。また、一連の研究の意義や活用法について考え、副論文として文章にまとめる。				
成績評価法	出席点20%、授業や研究に対する姿勢80%として評価する。				
テキスト	特に指定しない。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	欠席した場合は、必ず出席した学生から授業の内容を聞き、理解しておくこと。創作には「ひらめき」が大事である。日々感性を磨き、「ひらめき」を留めるため、常にメモができるよう心がけること。				
講義計画					
1. イントロダクション 授業の内容と進め方 2. 3回生への教育実習についての助言（3回生と合同） 3. 物語について 4. 「語り」について 5. 「語り」のデジタル化 6. 画像について 描く・撮る 7. 画像のデジタル化と編集について 8. シーケンスソフトと画像 9. 音楽と画像の相乗効果について① 様々な例を用いて 10. 音楽と画像の相乗効果について② 様々な例を用いて 11. DTMを用いた表現法① コントローラと心的効果 12. DTMを用いた表現法② 音楽と画像のシンクロナイズ 13. DTMを用いた表現法③ Waveデータと編集 14. DTMを用いた表現法④ MIDIデータ、画像データ、Waveデータのシンクロナイズ 15. シーケンスソフトを用いた表現法のまとめ 16. インテルメッツォ 卒業研究に向けての留意点 17. 卒業研究のアウトライン作成と指導 18. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 19. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 20. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 21. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 22. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 23. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 24. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 25. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 26. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 27. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 28. 卒業研究作品の創作、及び副論文についての指導 29. 卒業研究発表会（3回生との合同） 30. まとめ					